

令和5年度 第1回 学校法人木村学園 大阪電子専門学校
電気設備科 学校関係者評価委員会

【日 時】 令和5年7月25日（火） 13:00～14:10

【場 所】 大阪電子専門学校 3階コワーキングスペース

【出席者】

（学校関係者評価委員：敬称略 順不同）

岩本 浩一 株式会社キンコー（委員長）
乾 克彦 大阪電業協会
高松 光示 中央電設株式会社
渡邊 隆行 株式会社セイコー
西尾 義典 元清風中学・高等学校教員

（弊学園教職員：学校関係者評価委員には含まない）

木村 誠 学校長
上田 良和 司会・電気設備科班長・電気設備科1年担任
河村 雅章 学生指導ユニット主任・電気設備科2年担任
中本 智 情報エンジニア科班長・就職担当

【議案】

1. 令和4年度自己評価報告書の報告と質疑応答
2. 電気設備科における学園事業計画について
3. 令和5年度電気設備科学生アンケートについて
4. その他

【議事録】

1. 令和4年度自己評価報告書の報告と質疑応答

令和4年度の自己評価報告書について以下の報告がなされた。

（1）評価項目の修正

- ・評価の1～4の数字およびその根拠を加筆修正した旨の報告

（2）評価項目の評価方法の明確化

- ・数値に根拠を持たせるために、評価項目内に達成事項を記載している。

- ・達成事項の内容に対する達成数に応じた評価とする。
- ・達成事項が少ない項目については、内容にポイントを割り振ることはできないか提案があった。
 - ⇒ 達成事項の内容にポイントを割り振り、内容に応じて重みを付加する。
 (内容や項目については継続して検討)

(3) 評価項目の公開

- ・詳細な項目については、Webでの公開は議論が必要である。
 - ⇒ 他校にそのまま利用される可能性を考慮している。

2. 電気設備科における学園事業計画について

(1) 全員資格取得、(2) 学生の質向上、(3) 教育内容についての報告がなされた。

(1) 全員資格取得

- ・在籍学生における取得資格ついて報告
- ・全員に取得を目指してほしい資格としては、第1種電気工事士を中心として考えている。
- ・消防設備士、危険物取扱者の資格の取得も併せて目標としている。

(2) 学生の質向上

- ・第1種電気工事士試験に合格した学生を認定電気工事従事者として学内で指導を実施している。

(3) 教育内容

- ・以前要望のあった3DCADについて、現在講義担当者と内容の精査を行っている。
- ・今後の電気工事分野を見据えた教育の実施を行っている。(昨年度からドローンの授業)
 - ⇒ 大阪メトロでは3、4名体制で実際に利用している。
 - ⇒ 飛ばせる程度の能力でも良いので習得させる。
- ・実践的な教育実習の実施：学生から好評であった。
 - ⇒ 石膏ボードに穴を開けてコンセントの取付工事
 - ⇒ 実習室の天井の蛍光灯器具の取替工事
- ・AI・ロボットに関しては使う側として学んでいく。
- ・関西における学生独占
 - ⇒ 電気工事業界に興味のある人が入ってくれるように、カリキュラムの工夫を実施していく
- ・1年生において、低圧電気取扱業務特別教育の実施完了報告
- ・救命講習の実施：毎年実施している。
 - ⇒ 学生が1回でも講習を受けるのは重要という意見を頂いた。

3. 令和5年度電気設備科学生アンケートについて

令和5年度の学生アンケート案についての報告がなされた。

(1) 学生アンケート案の報告

- ・アンケートの答えやすさを考え、講義内容が理解できたかできていないかに重点を置く。

⇒ なぜそう感じるかを自由記述にしている。

- ・本アンケートを通じて、学生の要望（特にイベント・設備）を聞き取ることとする。

(2) 委員からの要望

- ・就職に際し、志望する業界の追加（例：工事 or 施工管理なのか）はどうか。
- ・学生が仕事を選ぶ時の基準を知りたい。

⇒ 現在、1年の夏休みに就職活動の一環で実施している。

4. その他

- ・現場では、タブレット（iPad）を利用している。

⇒ 全体的に図面の持ち運びや施工管理用（SPIDERPLUS等）での利用をしている。

- ・委員から、業界として仕事はあるが人が少ない状態である旨の報告

⇒ 窓口を広くするために、文理問わず、特に女性の参加を歓迎している。施工管理は特に女性に向いており、全体として人を増やしていきたい。